

赤城山景観ガイドライン 別冊 標準看板編【概要版】

本書は「赤城山景観ガイドライン」の別冊として、同ガイドライン対象範囲に看板等を設置する際に推奨される共通基準や標準的な看板デザイン例をまとめたものです。

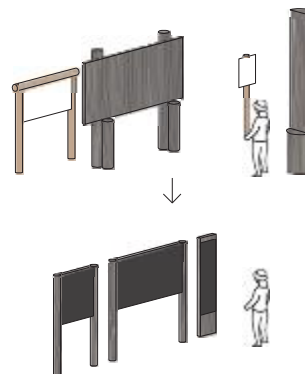
(1)5つのポイント

<看板をつくる前に>

看板を更新または新設する際、**事前に、本当にその場所に必要なものかどうかを検討することをお勧めします。**検討の上で、設置が必要な場合には、「5つのポイント」の考え方に則り、配置、素材、形態、色などを検討しましょう。なお、本書に記載されている内容はあくまで例であり、設置場所や寸法、素材の考え方など、その場に応じた適正な対応が必要となります。

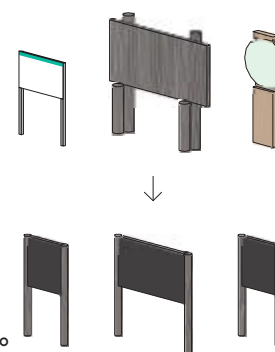
1 配置を揃える

隣合う看板や近くにある看板は視認性を考慮した上で、できる限り設置する位置、向き、高さ、隙間などを揃えることでまとまりをつくり整然と見せます。



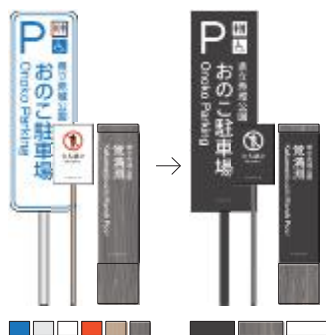
2 素材・形態を揃える

必ずしも新しい看板を既存の看板より目立たせる必要はありません。長くその場所にある素材や形には相応の理由があるかもしれません。本来見せたい景観を守るための公平な判断が必要です。



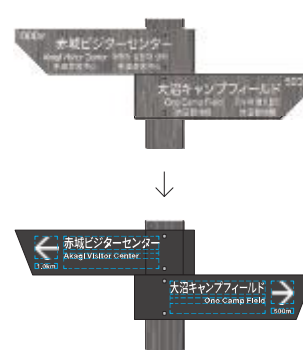
3 色を揃える

看板によって表示ベースや文字の色が違っていると、雑然とした印象になってしまいます。ベースの色を揃え、色数を絞ることで、見せたい情報を見やすくすることができます。



4 表示を揃える

適切な余白を設定した上で、右揃え、中央揃え、左揃えなど、表示にルールを与えると、美しく整然としたデザインとなります。見出しなどの同じ要素は同じ配置や大きさとし、文字の間隔や行間を揃えることも重要です。



5 情報を揃える

施設名称などが場所によって違っていると、混乱を招く恐れがあります。ゆらぎがしやすい地名、施設名称、翻訳、注意書きの口調など、表記は可能な限り揃えていくことで、まとまりのある印象となります。



赤城山景観ガイドライン 別冊 標準看板編【概要版】

(2)共通の基準

1 素材

景観との調和と耐候性を考慮し、天然木か金属類（スチール、ステンレス、アルミ複合板などを含む）、または双方を組み合わせたものを推奨します。

◀例▶天然木(柱、基盤など)+金属類(表示)の看板



2 色彩

看板の表示ベースや柱、背面は「19-30A」(ダークグレー)を推奨します。鮮やかな色、特に鮮やかなB(青)、BP(青紫)、P(紫)色相の色は推奨しません。



3 文字の大きさ

文字の大きさは視認する距離に対する文字高で設定します。和文の文字サイズに対して、欧文、その他言語の文字サイズは50%を基本とします。

視距離	和文文字高	欧文文字高	
30mの場合	120mm以上	90mm以上	赤城
20mの場合	80mm以上	60mm以上	Akagi
10mの場合	40mm以上	30mm以上	아카기
4～5mの場合	20mm以上	15mm以上	
1～2mの場合	9mm以上	7mm以上	

4 書体

和文書体はスタンダードで読みやすい角ゴシック体、欧文書体はサンセリフ体を基本としてください。

● 和文書体例：源ノ角ゴシック M

自然豊かな赤城山の景観
レンゲツツジが見頃です

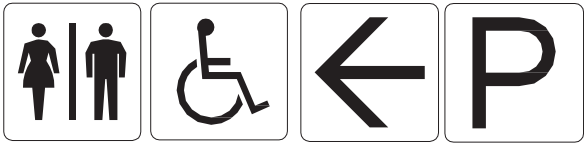
● 欧文書体例：Helvetica Neue Medium

Akagi Tourist Information

5 ピクトグラム

原則としてJIS案内用図記号を用いてください。
矢印、駐車場を表す「P」は下記のものを推奨します。

(JIS案内用図記号) (独自に設定しているもの)



6 表記

混乱を避けるために、原則として施設名や注意書きの文言などは一貫した表記を行ってください。

日本語の表記	英語の表記
群馬県立赤城公園 →県立赤城公園	Gunma Prefectural Akagi Park →Akagi Prefectural Park
前橋市赤城少年自然の家 →赤城少年自然の家	Maebashi City Akagi Youth Nature Center →Akagi Youth Nature Center
総合観光案内所 →赤城山総合観光案内所	Tourist Information →Mt. Akagi Tourist Information Center
大沼	Ono Lake Onoko →Onuma または Lake Onuma
小沼	Kono Lake Konoko →Konuma または Lake Konuma

赤城山景観ガイドライン 別冊 標準看板編【概要版】

(3)標準看板デザイン例

- ・屋外に掲出する看板を中心に標準デザイン例などを取り上げます。
- ・赤城山では地形の起伏や積雪、植物の成長などを考慮し、地面から600mmまでの範囲には表示を配置しないことが望ましいです。

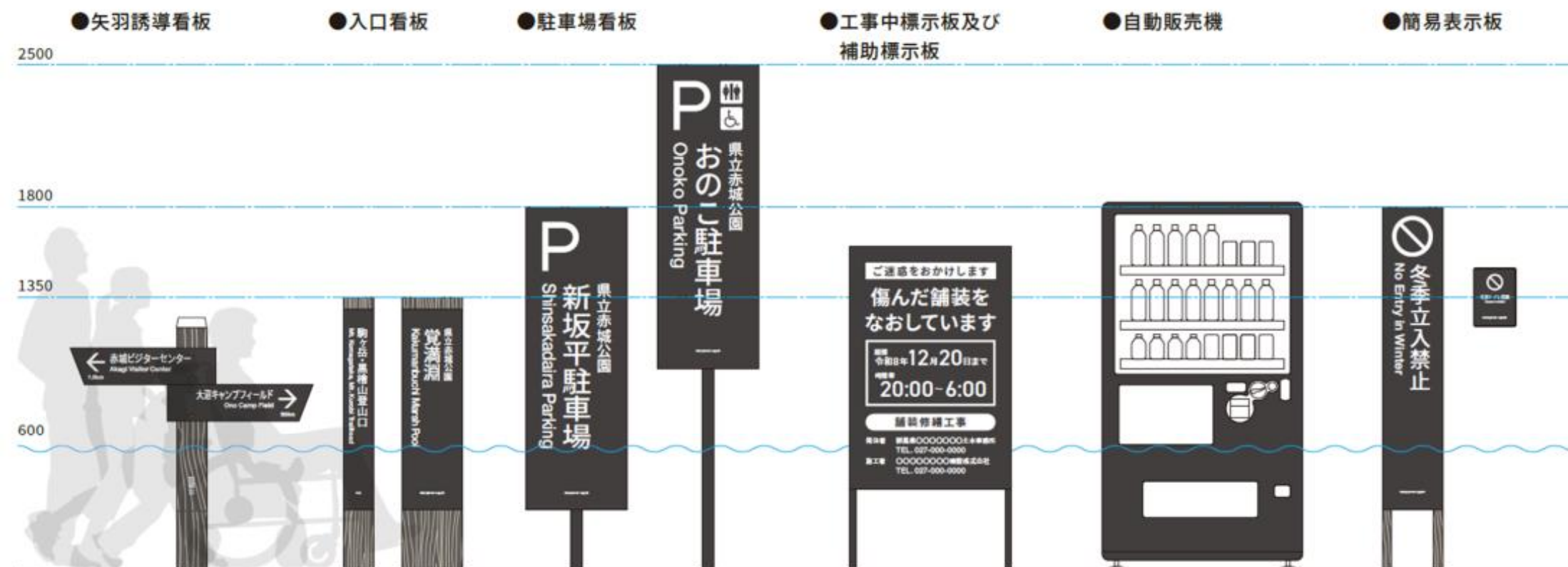


scale=1/30

赤城山景観ガイドライン 別冊 標準看板編【概要版】

(3)標準看板デザイン例

- 看板の高さは看板が隣接する場合などに、ある程度種類ごとに高さが揃うように設定しています。
同じ高さが設定されている看板を隣接して設置する際には、看板の上端が揃うように調整するのが望ましいです。



scale=1/30